

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	宮田村食育MOGMOGママの薬箱事業
事業主体 (連絡先)	みやだ食育 MogMog (上伊那郡宮田村 7501-11)
事業区分	保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	755,974 円 (うち支援金 : 566,000 円)

事業内容

現代における食生活の乱れなど食の問題を改善すべく、幼少期から大切である食育について、まずは保護者の関心を高めるため体験型食育ワークショップなどを実施。

- ・「食の知恵講座」全5回実施。計59組参加。
- ・「食の手仕事講座」全4回実施。計53組参加。
- ・「MOGMOG ファミリー夏・地元特産品を味わう」7月実施。9家族(28人)参加。
- ・「宮田ガレット普及活動」10月実施。60組参加。
- ・「MOGMOG ファミリー冬・自家製味噌作り講座」2月実施。19家族(48人)参加。



【食の知恵講座の様子】

【目標・ねらい】

- ① 食生活に対し保護者の意識を向上させることで、子どもたちがよりよい食習慣を身につけ
- ② 新規参加者増加による活動の充実

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 支援金を活用して、広い地域から問い合わせ・参加があり、活動を充実させることができた。
- ② 告知チラシ経由で公式LINEアカウント友だち追加人数が134名となり、前年より約30%増加した。ワークショップの新規参加者も増え、食の問題への関心の高まりが広がっていることを実感している。
- ③ 食育リーダーを育成し、今年度3人がリーダーとして講師を務めた。講師自身も子育て中であることから、母親目線での講座内容が母親たちの共感を呼び、より関心を高めてもらえた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後の講座は、食の知恵講座と手仕事講座を、宮田村公民館事業と共催で開講する予定。高森町からも、来年度4回の講座依頼を受けている。これらを活動の軸とし、母親目線だからこそ伝えることができる強みを活かして、参加者のニーズを拾い上げ、食育講座・料理講座の企画運営を継続していく。

※自己評価【A】

【理由】

- ・親子や家族での参加が多く、定員を超える申し込みがあった。
- ・LINE(情報発信として活用)の登録人数が約30%増加した。
- ・保護者同士の交流・情報交換の場としてもよい機会を創出した。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある